

短縮修了要項

(1) 申請資格

優れた研究業績を上げた者で、博士課程に3年以上在学（休学期間を除く）し、所定の授業科目を履修して30単位以上を修得し、大学院研究発表会を行い、かつ、必要な研究指導を受けた者

(2) 申請条件

指導教授の推薦を受け、短縮修了の審査を受けるために必要な書類を提出し、審査に合格した者で、次の各号に該当するもの

- ア. 大学院在学中の成績が特に優秀な者
- イ. 原則として本研究科が行う大学院研究発表会（年2回実施）において、提出する論文の発表を行い予備審査を終えた者
- ウ. 提出する論文は、次の各号に該当するもの。

(ア) 主論文は、本研究科以外の大学院へ学位論文として提出したことがないもの。

(イ) 主論文は、原則として印刷公表したものであること。ただし、印刷公表未済のものでも発表機関の受付証明書又は掲載予定証明書添付のものは、この限りでない。

(ウ) 主論文（主著の英文の論文1編）は、一流の欧文雑誌に掲載（受理された場合を含む）されたものであり、かつ、その内容が学問的にも価値が特に高いものであること。一流の欧文雑誌への掲載は、原則的にはファーストオーサーで2編以上とする。ただし、特にハイレベルの論文である場合は、この限りでない。

特にハイレベルの論文とは、1～3年次在学中にインパクトファクター5.0を超えたもの、または、本研究科委員会で定めるハイレベル論文リストに掲載されたものに投稿し公表されたものをいう。そのリストは別冊のとおりとする。なお、このリストは、毎年見直し変更することもあるが、在学中に本研究科委員会で定めるリストに一度でも掲載された雑誌上での公表であればよい。

※原則として、学位論文は、MEDLINE、かつ、Web of ScienceのSCIあるいはSCIEに掲載されている雑誌に掲載されたもののみとする。MEDLINEならびにSCI/SCIEに掲載されていない雑誌については受理審査時に判定を行う。

※平成30年4月の受理審議該当者から、第1著者英文論文2編による大学院短縮修了申請は、2編の論文の掲載誌のインパクトファクター合計が5.0以上の場合のみ認める。インパクトファクターは大学院在学中の最高値を用いる。新規発行誌のためにインパクトファクターが未掲載の場合には、短縮修了申請時に別途申し出ること。

(3) 指導教授の推薦により短縮修了の審査を受けるために必要な提出書類

ア. 指導教授からの「博士課程の修業年限に関する特例」による推薦書：1通
様式は医学部 HP メインメニュー→大学院教育→短縮修了手続
よりダウンロード出来ます。

イ. 研究業績目録：6部（任意様式）

○著者名 ○原著名又は著書名 ○発表雑誌名又は発行年 ○巻・頁・発行年

※上記項目を網羅していること。

ウ. 主論文とする原著（未印刷の場合は、論文掲載予定を証明する書類及び原稿の写）

：6部（2編で申請する場合はそれぞれ6部）

※前期・後期の開始時までには申し込みがなかった場合、半期分の授業料を徴収する。